

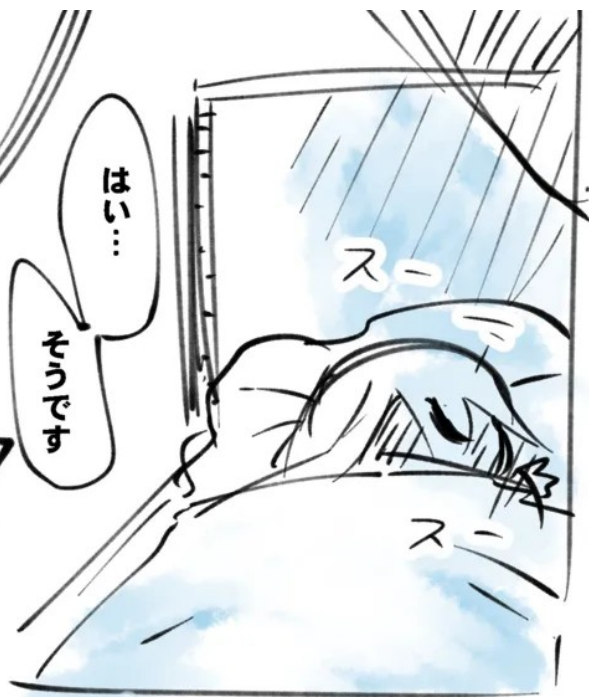




…敵意ですか
はい…無いとは
言い切れませんが
俺も…「そう」でしたから

おそらく彼女も
「あちら側」の世界から
逃げてきたと思います
はい…わかりました
最終的な判断は
そちらに任せます

それまでは俺が
彼女を見張って
おきます



はい…
そうです



彼女は俺と同じです
俺と同じ…
「バムフィル族」

まずは敵対意識が
無いことを確認
しなきゃ...だ

ちい...

フム...

危険だと確認されたら
彼女は処理されて
しまふ...なんとか
回避しなきゃな

むん...

!!

だ...
だ...

お...
お...
お...





だ・れ・だ

お・れ・ん・だ

おっ...俺は喰う気
落ち着けてなんて無...

ゴゴ

ゴゴ

完全に向こうの
世界に住む
野生の魔物...
このままだと
彼女は...

あ...これは
ダメなやつ

はあ

はあ



彼女に俺の
威嚇が成功して
良かった
俺たちが元居た
世界は弱肉強食の
世界…
平和な
集落は
存在するが
そこから
出たら
喰うか
喰われるか…
おそらく彼女は
集落から捨てられた
か…逃げたのか



凶暴になつてる
のは確かだ
どうにかこっちの
世界に合わせて
あげなきゃ…



ひえ…ヒッ…
にげ…逃げ…
ツア…ア

怯えてうまく動けない
キミにこんなこと
するのはアレだけど…
まずはキミの事を
調べなきゃね…

健康状態から
弱点まで
手探りで調べるから
我慢してくれ

カガカガ
カガカガ
ほん

あ

もぞもぞ

ナ
ナ
ナ

ん

少しは
落ち着いたかな…

いくつか質問
するけど…

キミの名前は？

…ターニイ…



性別と…年齢は？

女…
たぶん…20…

生まれはどこ？

よく覚えてない
どこかの集落…

何しにこっちの世界へ？

あっちの世界から
出るため…

仲間はある？

友達が…いた
もう…いない…



親や兄弟、家族はいる？

知らない…
家族…居ない…
子供の頃に

お前は
捨てられたって
集落の大人…みんな
言ってた

君に敵意はある？

襲われたら…戦う
腹減ったら…殺して…喰う
♂は常に…警戒…して
♀は…守る…



しかしなんだったって
そんなボロボロに……？
その姿……まるで
野生の魔物だぞ

集落から……追い出されて
賊の奴隷……



そこで
友達が……
できた……
2人で……
賊から……
逃げて……
2人で野生で
暮らす……
ことになった

でも……その仔……
死んだ……怪我した……
大怪我……それから……
わたしは……ひとりで……
すごした



その仔の夢だった
平和な……暮らし……
あっちの世界じゃ……
無理だと思った……
から



こっちの世界に
きた……わたしだけに
なったけど……
その仔の……ゆ……夢
だったから……



ぽろぽろ……

……かわりに……
わたしが……
えっ……う……

一緒に……
来たかった……なあ……
エリス……うう



お..
落ちついて
ターニイ
ちゃん...

.....という
わけで俺は
無害だと
思います

彼女の話を
聞きましたが
侵略など考えて
いません

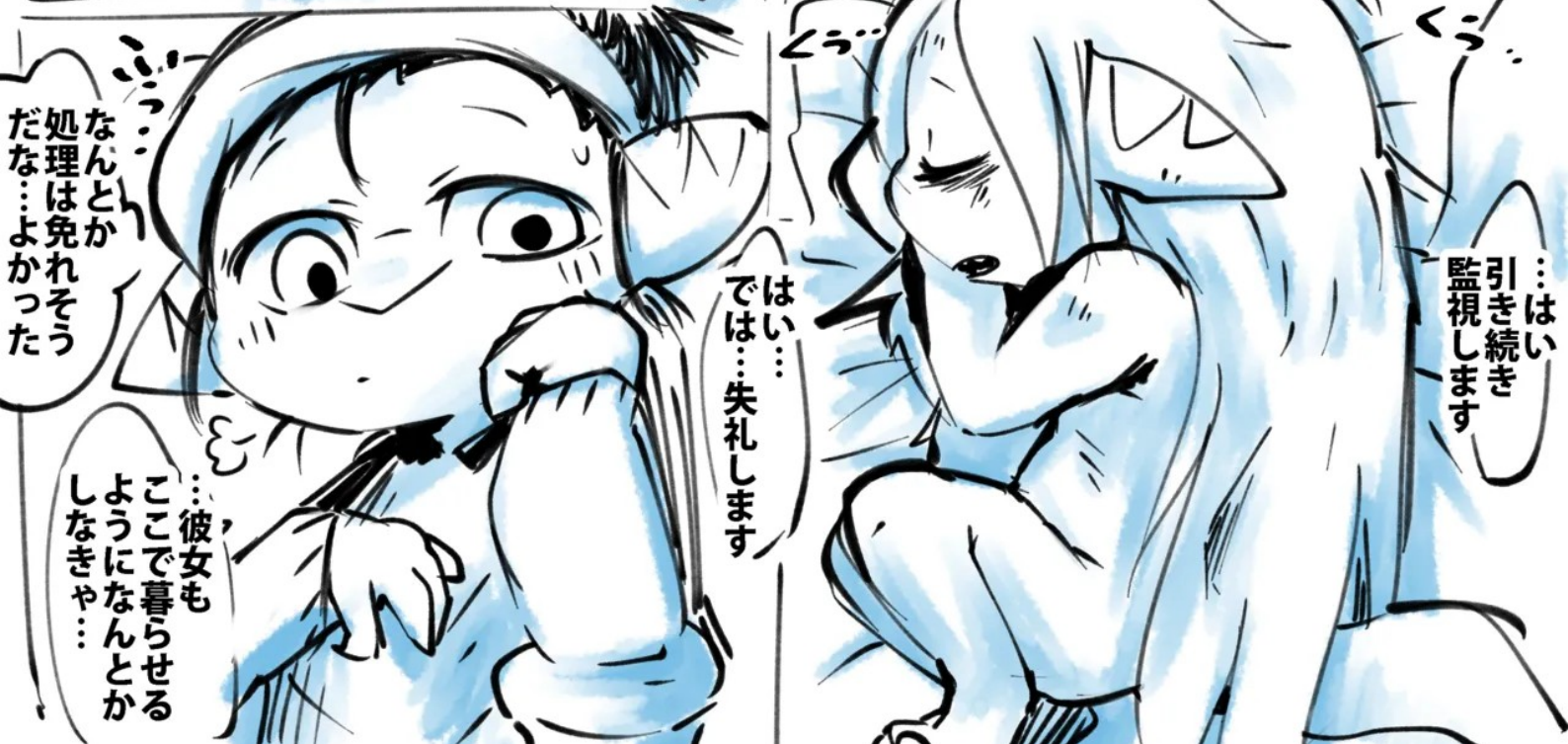
は..

は..

なんぞ...

ブル
ブル

うんええ..
エリス..
エリス..

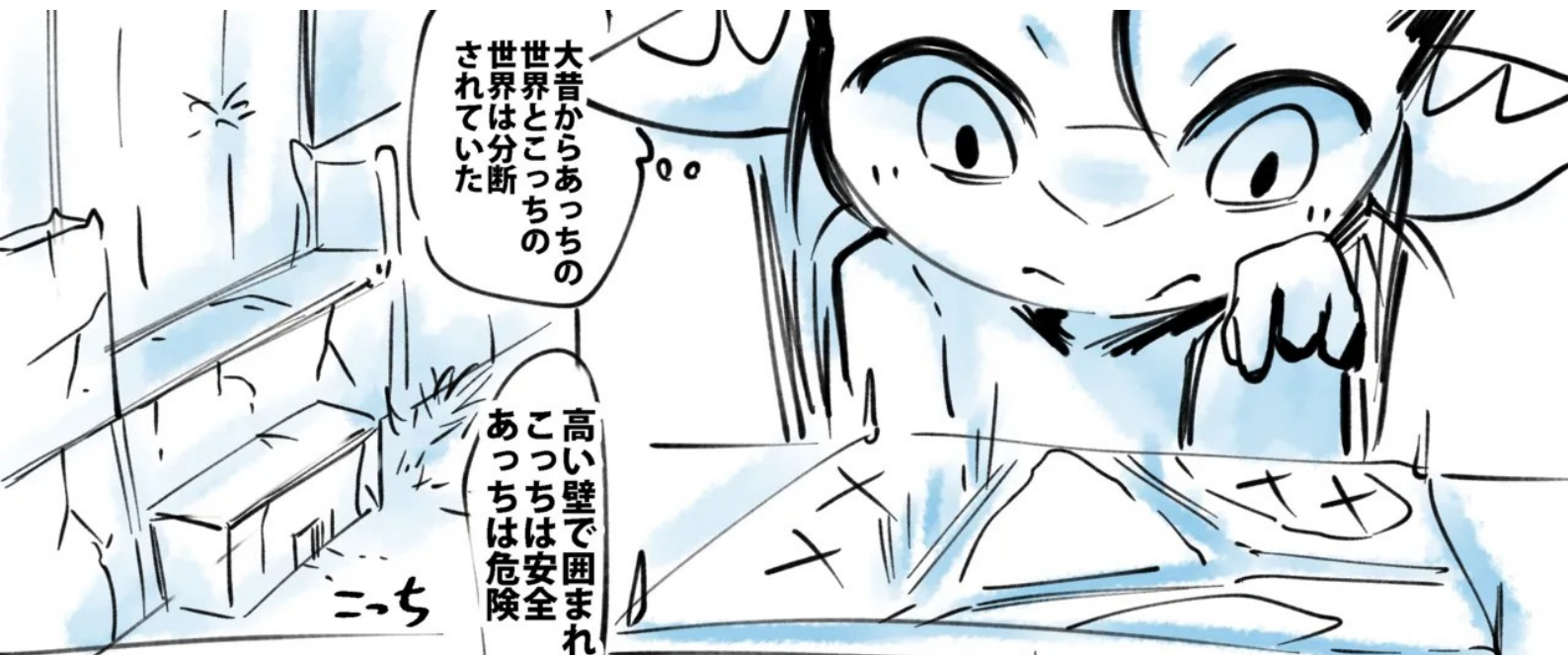


..はい
引き続き
監視します

はい..
では..
失礼します

なんとか
処理は免れそう
だな..
よかつた

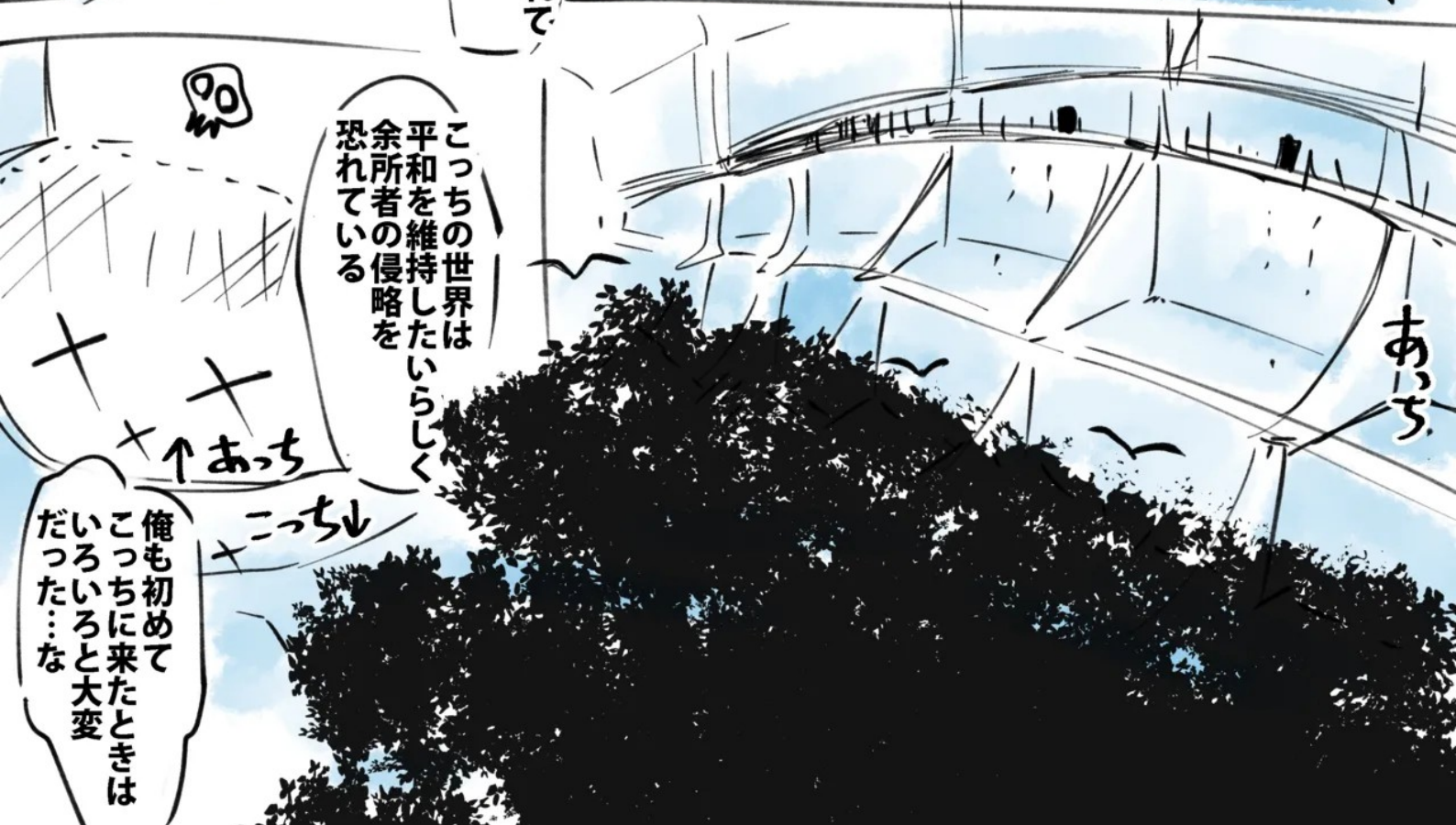
..彼女も
ここで暮らせる
ようになんとか
しなきゃ..



大昔からあっちの世界とこっちの世界は分断されていた

高い壁で囲まれてこっちは安全 あっちは危険

ニっち



こっちの世界は平和を維持したいらしく 余所者の侵略を恐れている

↑あっち

ニっち↓

俺も初めて こっちに来たときは いろいろと大変 だった...な



俺や彼女以外にも
余所者はいる…
そのほとんどが
攻撃性が高く
この街に馴染めたり
馴染めなかったり…
俺は運が良かった…
彼女も…そうであって
欲しい…



おそらく「食肉」
経験はあるだろう…
こっちの世界では
必要ないコトだ
平和な暮らしを
教えてあげなきゃ



さて…
心配事だらけ
だけど
俺に…
出来るかな…



手づかみ
じゃなくて
食器をちゃんと
使いなさい!!

そこは
トイレじゃ
ないでしょー!!

俺のおさがりだけど
とりあえず
服を着てくれ…君が
すっぽんぽんだと
俺の股間がやばい

そろそろその
長い髪の毛を
切るうな
短い方が可愛いと
思うぞ



5日後...

おーい
タニー
ー!!

そろそろ
時間だぞ
こっちにきて
じっと
しててくれー





クライヴ…
誰か来るの…？

君を見に
上層部の
審査員が
ここに来る

君がこっちの
世界にとって
危険か…
安全か…
だからこのまま
じっとして
くれ



それは
残念だな
来たのは
私だぞ
クライヴくん

まあいつも来るのは
爺さんだから適当に
やってれば大丈夫
ほほほ
ターニイも
こっちで平和に
暮らそう！



クライヴくんの
資料を見る通り
キミは安全…だそうだ

…

だがね…私はまだ
信じられない…クライヴくんの
例があるからね…



君たちあちら側の
世界のやつらは
どいつも凶暴だ…
だろ？クライヴくん

…何も
喋らないね
口止めされて
いるのか？



やめろ…

相キにするな

もう手懐けたのか
クライヴくん



今日から私が担当でよかったよ
前任の爺さんはヌルすぎた
危険な奴らはすべて
速やかに処理すべきだ

こちらの世界では
君みたいな危険性のある
やつらは皆管理下において
好き勝手出来ないように
収容しているのだよ

フン…私には
わかるぞ…?
いったいあちらの
世界で何人もの
命を奪ってきた?
キミは血の臭いが
染みついている…



自由になれるとでも
思ったか?
キミはこれから
収容所行きだ
自由などない!



それが嫌なら
あっちの世界に
送り返してやるぞ

返す?!

やだ…



こいつさえ…
居なくなれば

嫌だ…

ほーっほーっ

戻りたくない…



待ってくれ
彼女は
大丈夫だ!
俺が保証
する…!!





き…貴様ア!
やはりその凶暴性
…クライヴと
一緒だな!

だら…だら

やはり私の目に
間違いはなかった…
貴様は危険だ…
私に怪我を負わせた
のだからな

はーはー

くそ…だめだつ
ターニイやめろ…!!
大丈夫だ!俺が…なんとか
するから…俺がキミを
自由にするからつ



おな..



無理だね!!
無防備な私を
突然襲ったんだ
言い逃れは出来ない!
危険度B...いやAは
確定だな...
クライヴ...お前の
思い通りにはさせな...

無防備ねえ...
やけに嬉しそうに
語るじゃないか

私には...君は
彼女に攻撃
されるような
挑発的な態度を
とったように
見えたのだが?

ド
ン



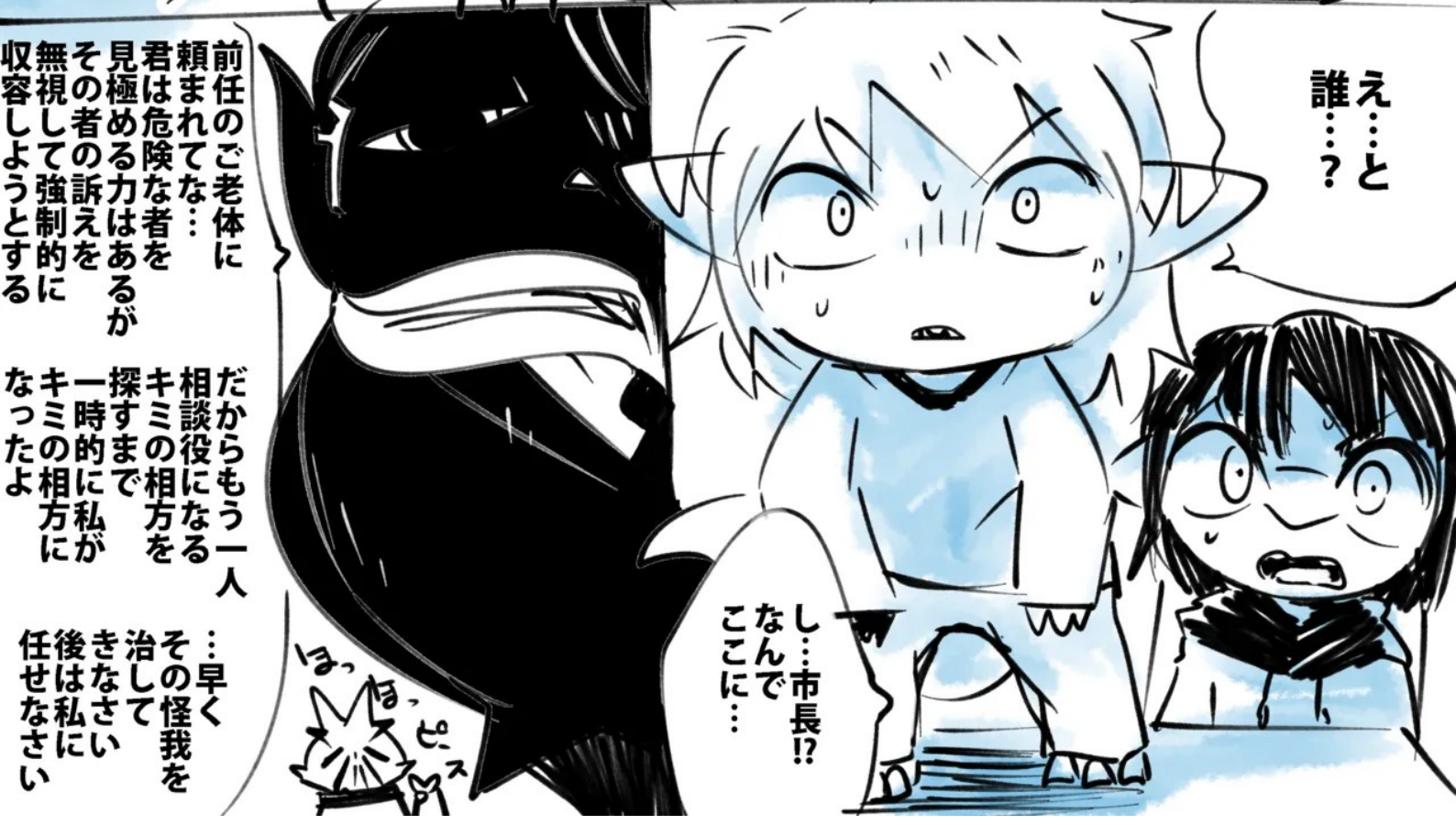
ア
ッ

ズ
ン



君は前にも
同じことを
したよね？

あの時は
クライヴを
怒らせて私が
傷を負ったのを
忘れてないよね？



え…と
誰…？

し…市長!!
なんで
ここに…

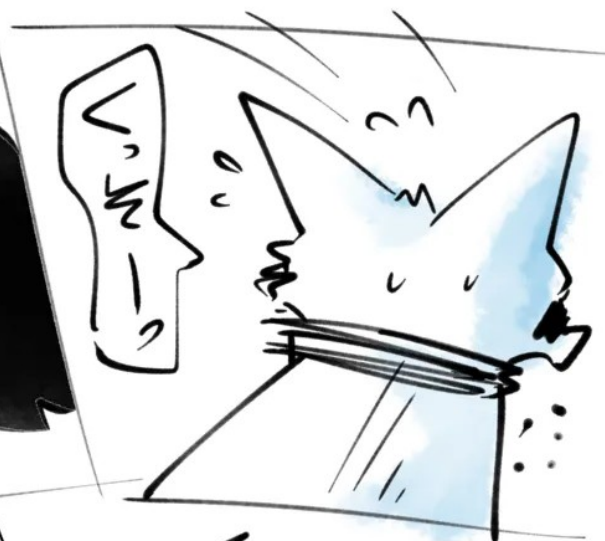
前任のご老体に
頼まれてな…
君は危険な者を
見極める力はあるが
その者の訴えを
無視して強制的に
収容しようとする

だからもう一人
相談役になる
キミの相方を
探すまで
一時的に私が
キミの相方に
なったよ

…早く
その怪我を
治して
きなさい
後は私に
任せなさい



君が…ターニイだね
クライヴと同じ種族…
あちら側から逃げてきた
ということではないのかな
彼は自業自得で
ああなったわけだが
君が傷をつけたことに
違いはない…



クライヴ
期限は1週間だ
彼女をこちらの
世界に慣れさせ
るんだ



一週間…ッ



今のターニイは
危険度Aだ
もしこちらの世界で
自由を手に入れたければ
私達を納得させてみない
凶暴さを感じさせない
ターニイの姿を見たら
危険度を下げよう

また私が来た時に
もし彼女が
変わってなかったら
…あとは分かるな？



どうしよう…
いや違う…これは
チャンスだ



ちやほほ

ターニイは
男に対しての
敵対心が高すぎる
やっぱり
女の人の助けを
借りなきゃ…だな

どうにかして
ターニイを
普通の女のこ
にして
あげなきゃ…
でも俺が…
本当にできるのか？

俺が自由に
してやるって
言っただのに
自信が無い…
助けが無い…
いる

でも現状危険度Aの
ターニイを相手して
いるのか…？





はい
もしもし...

もしもし
クライヴさん？
ミゼットですけど
先月クライヴさん宅に
行ったときに忘れ物を
しちゃったんでですけど
今から取りに行っても
大丈夫ですか？

ミゼットちゃん！
あ...ああ大丈夫
だけど...あッ！
...そうだ！



...という
わけなんだ

事情は
わかりました
私たちに
任せてください

ちょうど私の所は
女性しか住んでませんし
そのターニイってコの
年齢とも皆近いですし...
面倒も見れると思います



賑やかになって
くれた方がこっちも
助かる...し

誰か
付き添いを

クエイスちゃん
一緒に来る？

新しい家族を
迎えに行こう

すまない
ターニイ…勝手に
決めてしまつて

これからミゼット
というコが来るんだが
今日から彼女の家に
しばらくお世話に
なつてもらう

ミゼ…ト？
しばらくくつて…
どれくらい？
わたし…は自由に
なつた…の？

ごめん…まだなんだ
ターニイの危険性が
無くならないと…
自由にならない

…わたしは…
何をすれば…いい？
ミゼ…トの家で
暮らせばいい？

そうだ…
彼女の家で
普通の暮らしに
馴染んでくれ
1週間後に
市長が会い
くる…その時
までな

ごめんなあ
本当は俺がなんとか
しなきゃなの…

ぎゃー

うっわ…



もう十分…
いろいろ…
やって
くれたよ

ありがと…う
クライヴ…
わたし…
やってみる
…から



いらっしやい
2人とも

同居人のコ
も連れて
きました

はっ

クライヴさん
こんにちは



1時間後



危険度A...?
この仔が?

わ...私は
クエイス...
よろしく

私はミゼット
よろしくね
ターニイちゃん



喋れないことは
無いんだけど
なあ...ターニ...

あれ...?
緊張してるのかな
喋ってくれないね

;;





おーい、こゝ
それじゃあターニイのこと...よろしく頼むよもし何かあったらすぐに連絡してくれ

分かりました！
行きましょう
ターニイちゃん！

さてと...まだやることは沢山あるぞ...っと

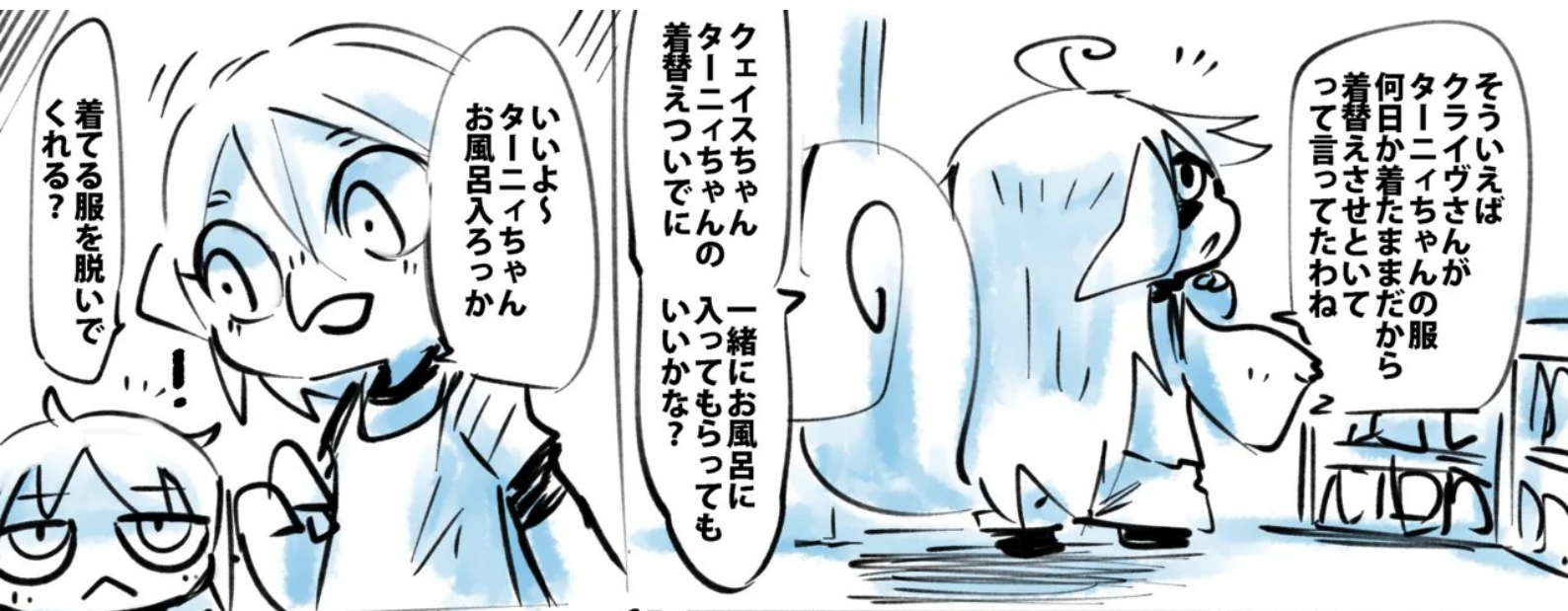


ふう
ただいまっと...

ターニイちゃん手ぶらで来ちゃったけど荷物は無いの？

結局全然喋らなかつたしまだ警戒してるのかな...

ん
大丈夫



そういえば
クライヴさんが
ターニイちゃんの服
何日か着たままだから
着替えさせといて
って言ってたわね

クエイヌちゃん
ターニイちゃんの
着替えついでに
一緒にお風呂に
入ってもらっても
いいかな？

いいよ
ターニイちゃん
お風呂入るっか

着てる服を脱いで
くれる？



あっ…
そんなに
急がなくても…

よかった…
言う事は
聞いてくれるのね

ぬぎ
ぬぎ

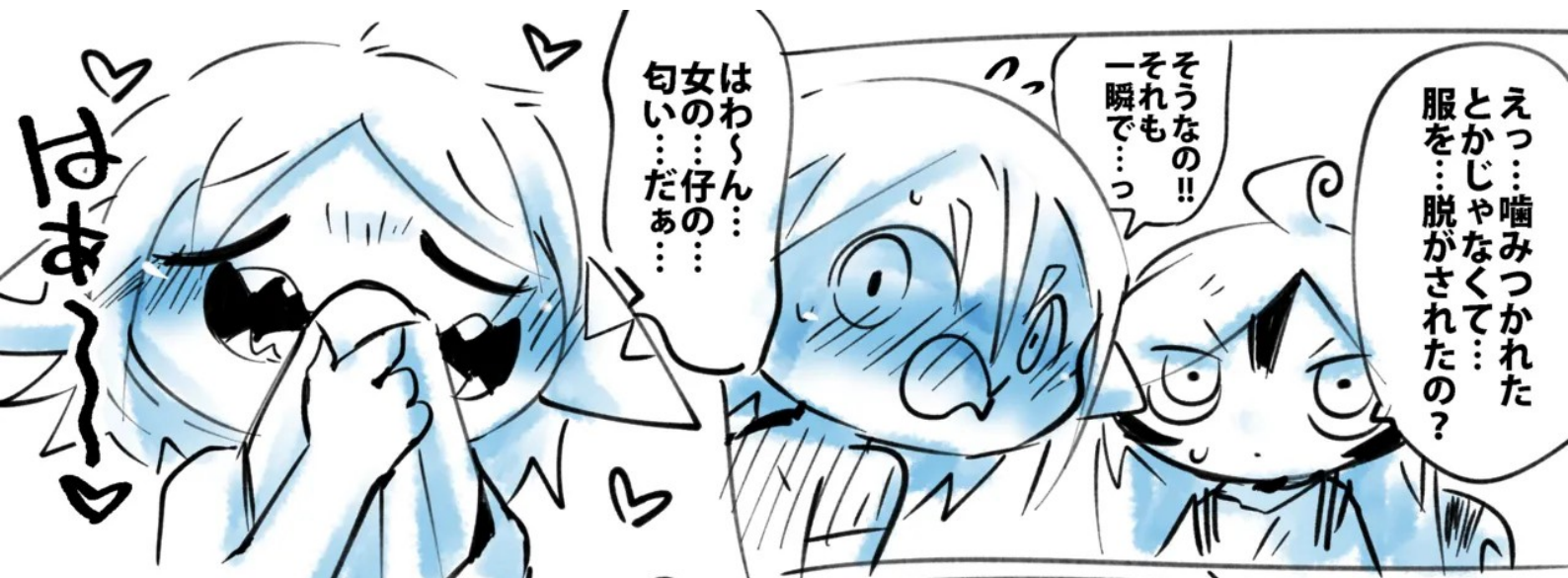
ちよ…えっ
ひやあま

な…
ななな何事ツ!!

た…ターニイちゃんが
急に私の服を脱がして
私を…裸に…っ

かああ

すぽん



えっ…噛みつかれたとかじゃなくて…服を…脱がされたの？

そうなの!!
それも一瞬で…っ

はわらん…
女の…仔の…
匂い…だあ…

はわらん…



すごく…
久しぶり…
気分…イイ…♡

もぞ

もぞ

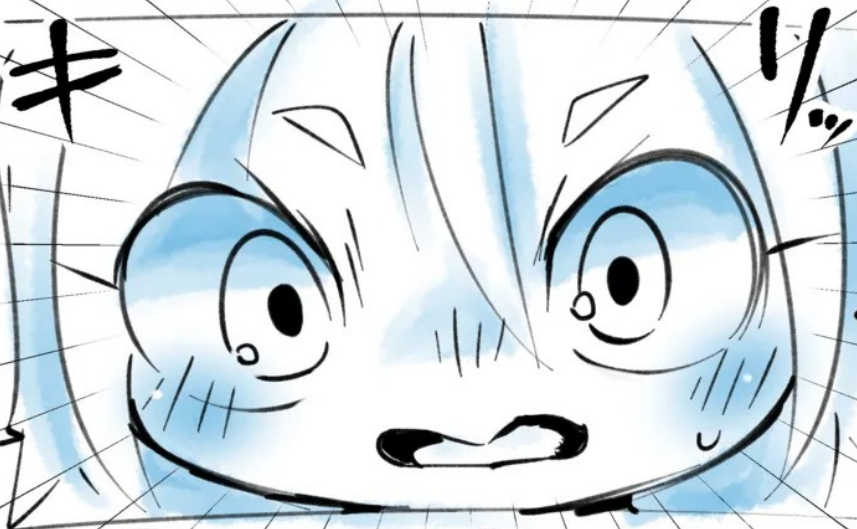


グッ…

なんなの
この変態は…!!
私の服で
興奮したした…
危険度Aつてもしかして
こういう意味の危険?
…そんなわけないよね

やけに
おとなしい仔だと思ったら
女の仔の前だと
こういう一面もあるのね
新しい問題発生…
ん…?ちよっと待って
逆に利用できないかな?

当初の目的は彼女の危険度を下げるコト…他人に怪我させないようにするには他のコトに注意をそらせればいい



彼女は同性の仔が好きみたいだから…私が彼女を夢中にさせる女になれば危険度は下がるハズ…!

そんなに私とお楽しみしたいならやさしくしてくれなきゃだなぁ…あ



あ…ああ…っかわ…カワイイ…抱き…たい…っ!



「ターニイ!いきなり人の服を取っっちゃダメでしょ!」



ぐっ書



だ…大丈夫!
私を攻撃するなんて
ことはしないはず…

た…



クエイヌちゃん…ツ
大丈夫なの…?
襲い掛かってくるかも…



!!

か"は!



ふふ…思った通りね
クエイヌちゃんは
面倒見が良いから
彼女の事
率先して
なんとか
しようとか
取り組んで
くれる…!!
でもまさか
彼女が女の仔の
カラダに興味があ
ったなんてね…
…あとで報告
しなきゃ…

このままお風呂に
連れていくね!!

ダ'ダ'ダ'ダ'
やるやる…



キキキキ
キキキキ

ひゅひゅ

ひゅひゅ

生のちっぽら...♥

ふにふに...やわらか...
何年ぶりの...女のこの
感触...んっ

おしゃおしゃ

あんたも
女でしょ!

ほら
じっとしててよっ
ああもう!私の
おっぱいにもに
しないで!

もたもた



ふわあああ...
おはよ...

うらん...なあに?
なんだか
騒がしいわね...

今はもう夕方よ
この寝坊助
新しいコをこの家に
迎えたのよ

へえ...
どんなコなの??

ポッポッ

ちょっと
ヤバいけど
なかなか
賑やかなコだよ

街のデータベース
にあればすぐに
調べられるけど...

ヤバい...?
どこのコ
かしら...

すず

カ
カ





ただいま〜

あつ…
ちようど
良い所に…
おかえり〜!

おっ…
ってごとは…

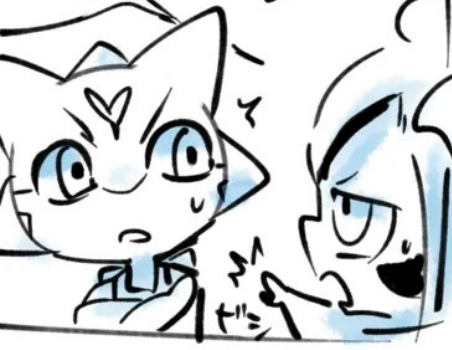


ミゼットちゃん
頼まれたもの
買ってきたよ

리즈벨ちゃん
레이เนสちゃん
ありがとう♡

珍しい…
全員
揃ったね…

いつも
あなたが部屋に
籠っててここに
居ないからよ
perlちゃん…!!



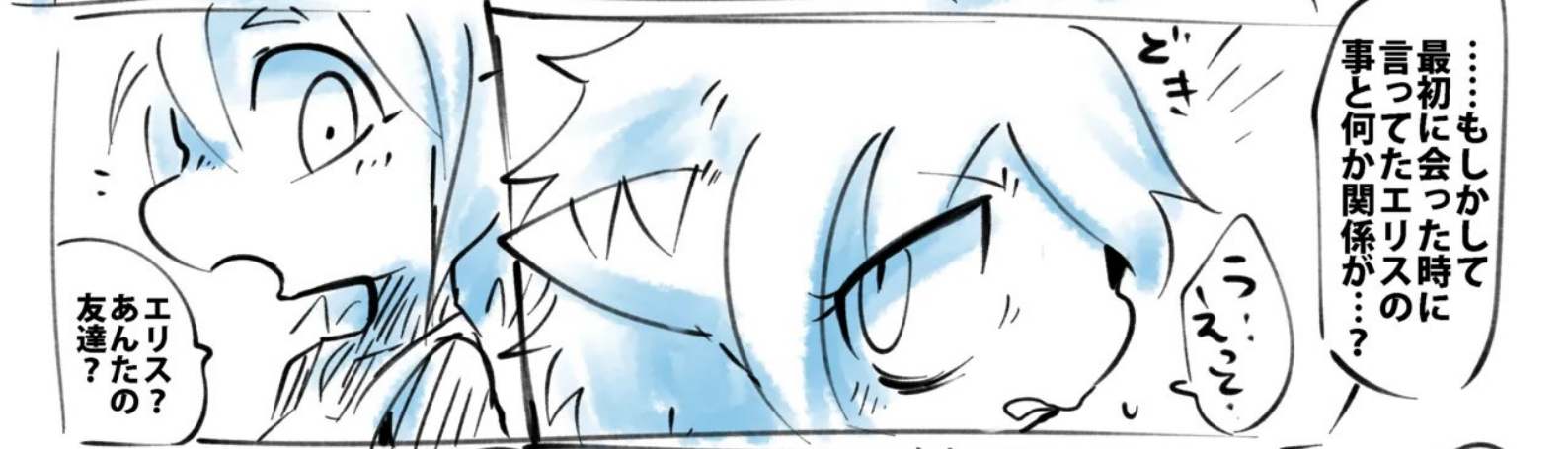




た：ターニイ…
同性の身体に
興味があったのか…
どうして先に
言ってくれなかったんだ

…理由を教えてください
性欲か？それとも
ただの興味本位か…？

うっさい…
あなたに私の
弱みをこれ以上
握らせて
たまるか…っ



…もしかして
最初に会った時に
言ってたエリスの
事と何か関係が…？

うん…

エリス？
あなたの
友達？



なんだ別に孤独って
わけでもなさそうじゃん
話を聞かせてよ
その友達のこと

うん…



彼女の名前は
エリスティ
私はエリスって
呼んでる

彼女はベルディモ族で
あっちの世界で私と
一緒に賊集団の
性奴隷になっていた

ど…奴隷…って
やっぱりあっちの
世界は危険なんだね…



同じ牢屋に
入った時に
彼女は突然
性欲が収まらない
とが言い出して
私とエッチな事を
した…

正直彼女は賊の共
よりも上手だったし…
とても気持ちよかった…
それから私は彼女の虜に
なっちゃって何度も
シちゃったし友達にも
なってくれた

ベルディモ族も
バムフィル族並みに
性欲が高いと聞いたことが
あるが…なるほどな



私たちはお互いを
求め合って
その奴隷時代を
生き抜いた…

ある日私たちは機会を見て
賊の住処から逃げ出すことが
できた…
でもその時に揃って怪我を
しちやって…私はすぐに回復
したけどエリスはどんどん
弱って…そのまま
彼女は死んじゃった…

2人とも体力も生命力も
回復力も高い
種族なんだが
おそらく彼女は
致命傷だったん
だろう…





最後に聞いた
エリスの言葉は
「あなたと外の世界に
行きたかった」

エリスは
こっちの世界に
来て私と平和に
暮らしたかったの

だから彼女の
やりたかったこと…
私が代わりに果たそうと
して…ここに来たの

あ……

ぐす..



でもここでは
私は危険で…
邪魔者…

あ

かし

馬鹿言わないで
私はそうは思わないわよ
ターニイ…あんたは
ここで私たちと平和に
暮らすの…!!

そんな顔見せられたら
とても危険だとは
思えない…!!

私はエリスってコ
みみたいにエッチなこと
よくわからないけど…
あなたの友達に
なる事は出来るわ

アンタのせいで
私の印象がエロい人
になっちゃったじゃん…

スゥ…

っていうか
絶対そうしなよ！
…彼女は
こんなにもターニイの
こと思ってくれてる
んだよ？

ターニイさ…
彼女のこと好きに
なっちゃいなよ

もうこの世に
いない
私のこと
ズルズル
引きずるの
やめてさ…
え…
いいの？

ちゃんと彼女を
受け入れて…他の
みんなも受け入れて…
友達をもっと
増やさないよ

…うん…
わかった

ターニイには
こっちの世界で
私の分も
幸せになつて
欲しいよ…



えへへ…友達…
嬉しいなあ
友達なら…
私とエッチ
してくれる？

もちろんよ
あとでやり…

…ん？

やったあ
私いろいろ
教えて
あげるね…



いやあの…っ違…っ
違…っその…違わないけど
まだ心の準備がががが

さてと…
そろそろ
帰るかな

ターニイ
あまり迷惑
かけるなよ

早く帰れ
クライヴー!

新たに
ターニイのこと
知れたし…

ははは…
やっと元気に喋れる
ようになってきたな
安心したよ

にが



分
や
やす
ね
い

ねえ...
彼女...
やっぱ...
クワイ...
さんの...
こと...

はいはい
帰るって

じゃあ
あとは宜しく
頼むよ

こっちは...
はいはい...
はいはい...
はいはい...



...ほら
ターニー
こっちにきて

下着でもいいから
身に付けてよ
ずっとハダカの
あなたを見ている
こっちの方が
恥ずかしいから

はーい

んん…
クライヴの服
より綺麗…
きもちいい…

ターニイちゃん！
自己紹介がまだ
だったね…っ

私はリズベル
この中では
私が一番年下
なの…よろしくね！

よろしく
リズベル
ちゃん…っ

私はレイネス
得意な事は
料理だよ
よろしく！

レイネスちゃん
よろしく
…！！

私はペルセリカ
この街の情報や
ハイテク技術を専門に
扱ってるんだ
よろしくねターニイ

あと私のことは
ペルちゃんと
呼んでね

ハイテ…？
んあ…
よろしく
ペルちゃん！

うん、
クライヴの
服より
良いにおい
する

すみ

すみ

リーズベルちゃんと
レイネスちゃんに
頼んで買って
きてもらった
新しい服気に入って
もらえた？

さっきも
自己紹介
したけど…
私は
ミゼットだよ
よろしく！

この中では一番背が
小さいけど私が一番
年上で…この家の
代表みたいな
立場かな…

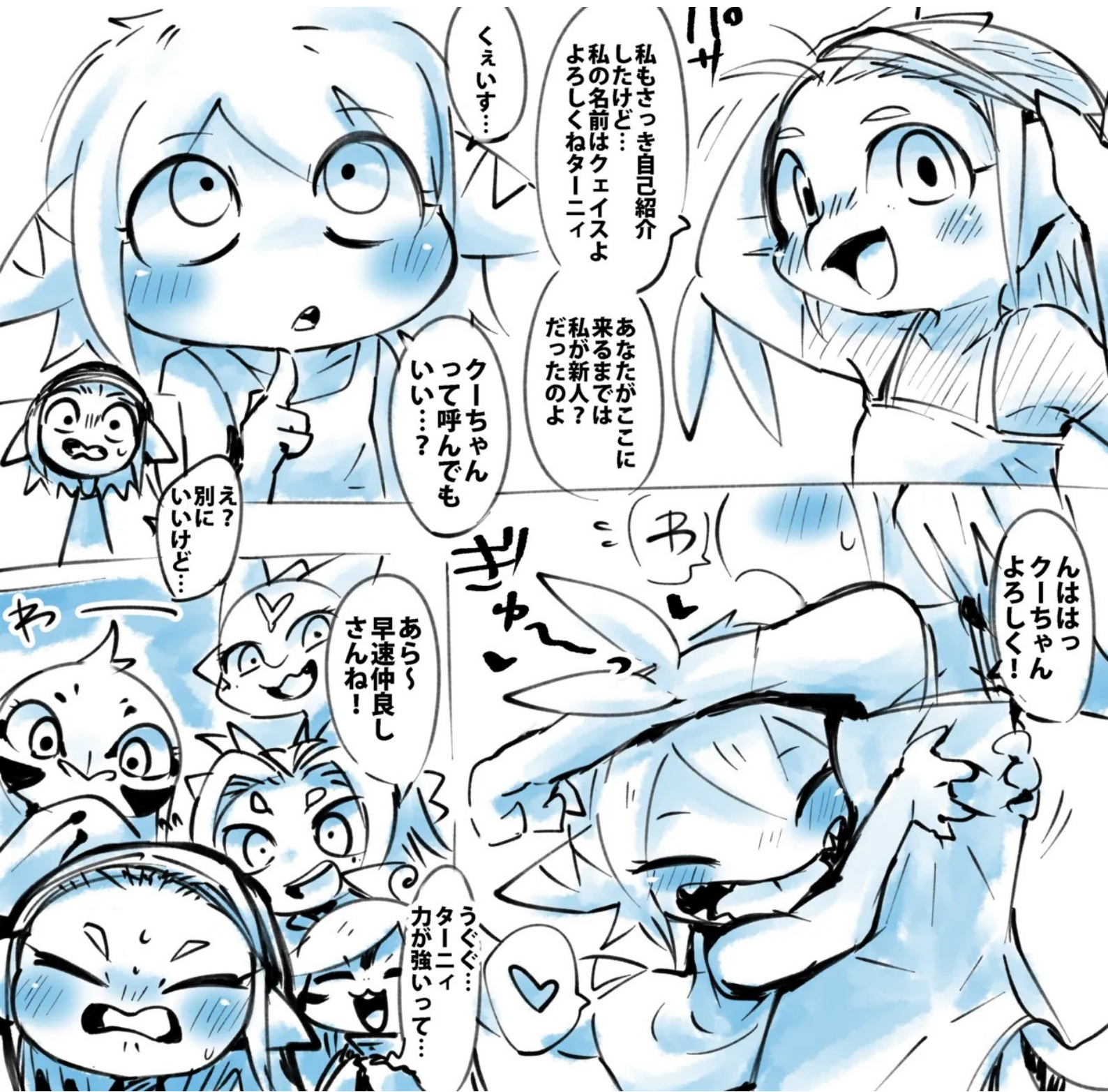


私の部屋に
おいでよ
ちようど
1人分スペース
あるし

あ…でも
ベッドは
別々ね…！

よかった♪
あとは…
アナタの
寝る所
なんだけど





私もさっき自己紹介
したけど...
私の名前はクエイヌよ
よろしくねターニイ

あなたがここに
来るまでは
私が新人？
だったのよ

くえいす...

クーちゃん
って呼んでも
いい...?

え？
別に
いいけど...

あらら
早速仲良し
さんね！

うぐぐ...
ターニイ
力が強いって...

んははっ
クーちゃん
よろしく！

わ



みんな自己紹介
したわよ
あんたもみんなに
やってね

ん…えっと
あっちの世界から来た
ターニイ…だよ
みんな…よろしく…

ようしく
ターニイ
ちゃん!!

ちら..



これでああなたの
ベッドの準備はよし…っと

この部屋の半分は
空けてあるから
あなたの自由にして
いいわよ

クライヴの
ベッドより
綺麗…

そりゃそうよ
新しいのを
用意した
からね

今日から一緒に暮らすことになっただけどあなたには…

まず私たちと同じように暮らせるようにここに馴染んでもらうからね

まずあなたが危険だと感じられないようにしてあげてクライヴさんから頼まれているの

今のところあなたには私たちに危害を加えるつもりはないみたいだから安心したわ

そんなことしない… わたしは… 好き勝手に攻撃なんてしない…

あいつにやなこと言われたから… あいつに…手を出したし… あつちの世界に居たときだってこつちが攻撃しなきゃやられてたから…

クライヴさんもそう言ってたよ… でもこつちの世界は争いなんてやったらダメ我慢しなきゃ…

もし今度あの人に何か言われたら私が言い返してやるんだから

約束その一 誰にも攻撃しない事



約束その二
こっちの世界の
生活に合わせることに

服を着て生活する、
食べるものは私たちと
同じもの、帰るべき
家はココ!

約束その三
外出する時は
常に私たちの
誰かと一緒よ

まだターニイは
危険度A...
好き勝手に外へ
出ちゃダメなの



だからあなたの
危険度が良い感じに
下がるまで私が
面倒を見てあげる

私...しばらく仕事を
休みにしたから
いつでも頼って
きても大丈夫だからね

...クーちゃん...わたし...
ここにきてよかった...?
迷惑じゃ...なかった?

あう...

いんま...

一年ぐらい前に
なるのかな...
私がおこへ
来たのは...

実は私ね...
こっちの街へ
逃げてきた
ようなものよ

元居た街で
私は悪い男に
騙されて色々
失ったの...
家族も親戚も
友達もみんな
離れて
いったの

それから
心を閉ざすように
なって...周りの人達からは
冷たい視線を浴びるよう
なって...その街には
もういられなくなつて
逃げてきたのよ

このこの
皆はすぐに
私を受け入れて
くれたわ...
おかげですぐに
打ち解けられた



私も最初は
あなたと同じように
みんなに迷惑かかって
思ってた...でも
みんな歓迎してくれた...
だから心配しなくていいよ

誰も迷惑だなんて
思つて無いから...
それにみんなも
分かつてははずだよ
ターニイは危険じゃ
ないってこと...

ふふ...
だってこんなに
可愛い笑顔が
出来るコ
なんだもん...

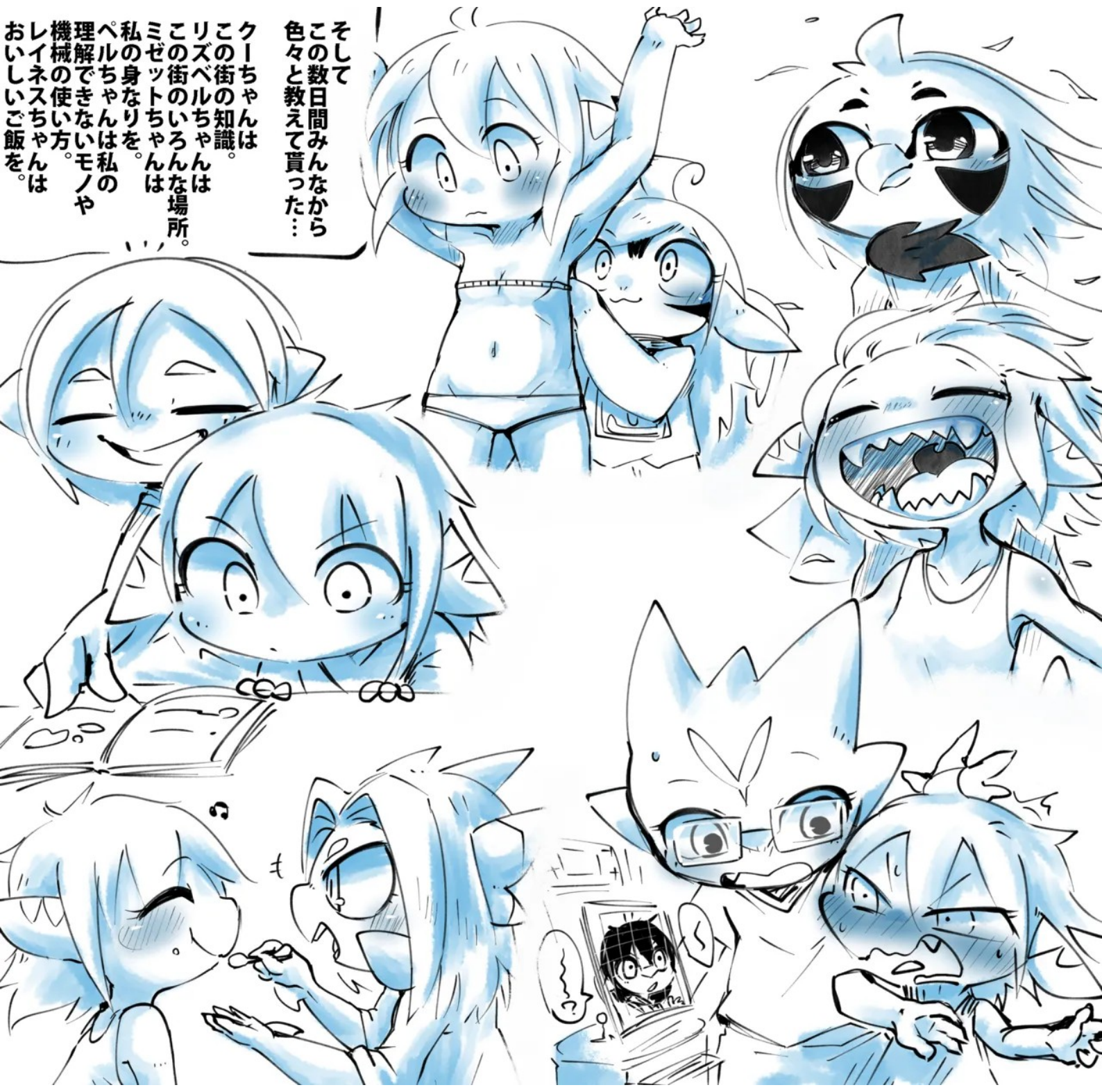
にへへ...

えへへ...
ありがとう
クーちゃん



そしてこの数日間みんなから色々教えて貰った！

クーちゃんは
この街の知識。
リズベルちゃんは
この街のいろんな場所。
ミゼットちゃんは
私の身なりを。
私の身なりを。
ベルちゃんは私の
理解できないモノや
機械の使い方。
レイネスちゃんは
おいしいご飯を。





そんなこんなで
約束の日が
来ていた



お二方...
これで良い
ですよね...?

ご覧の通り...
ターニイはこの
暮らしに慣れて
くれました

同様している
彼女たちに
危害を加える
なんてことも
してないそうです

彼女の
危険度を
下げてくださいね



よかったな
お二人さん

やったろ
一緒に
暮らせるっ

おーい、

ほ、

Bになったことにより
この街で「暮らす」事を
許可する…だが
監視体制はそのままだ

もし誰かを
傷つけたりしたら
すぐにAに戻して
収容してやるからな！



わかった…
約束通りターニイの
危険度をAからBに
下げよう



ああ…でも大変
なのは…これからだ

特にターニイは
性欲がすごい…
定期的に発散させて
あげないと…

君たちに
任せても
大丈夫…？

なんとか…
なったね

分かってます…!!
彼女も平和な暮らしを
望んでますから…ツ



我々はこの辺で
失礼する…
クライヴ…ミゼット
あとは頼んだぞ

決してターニイに
危険なコトをさせない
こと！この街の
平和を守ること！



かあ。

だ…大丈夫…
彼女がやりたかったら
私たちがなんとかか…
対応する…から
えと…うん
大丈夫…

私たちに
任せてください！

ターニイのこと
よろしく頼むよ
家の人にも
宜しく言っといてね

じゃあ…
俺もこの辺で
帰るよ
ターニイの
資料をまとめて
提出しなきゃ
だからね…

ん…？ってことは
クライヴさんも
性欲が
すごいって
ことに…？
手に負え
なくなったら
クライヴさんが…
ターニイちゃんの
相手に…うおっ…

バムフィル族は
性欲が強いから…
そっち方面で
迷惑かけちゃうね
もし手に
負えなくなったら
すぐに連絡してね
ミゼットちゃん



Aだと
収容所に保管されて
しまうけど
Bだと
街に暮らすことが
許されるのが
危険度は下がった
けど攻撃力は
高い人だから
注意が必要って
立場だから
監視はまだ
必要だね

危険度が
下がったんだ
良かったじゃん
ターニイ！

あいつら来てたんだ
…いつの間にか
気付かなかった

やった〜！
この街の
いろんな
力や人が
見える〜！

私たちと
一緒なら
いろんな
施設に
入れるよ
遊びに行ったり
買い物したり
できるよ！
一緒にプール
行こう〜！

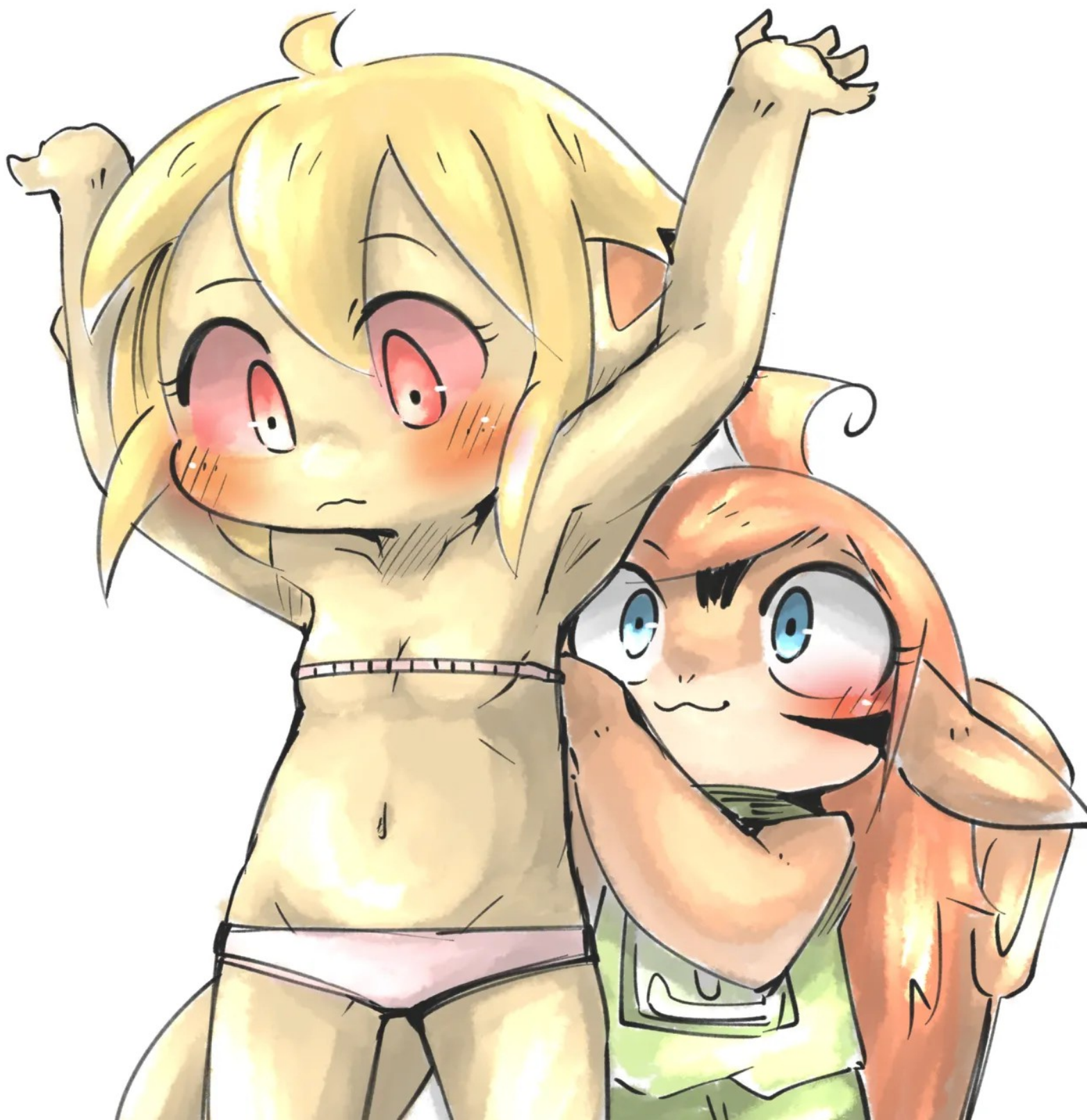
下がったら
私はどう
変わるの…？

















♪ ♪
♪ ♪

♪ ♪
♪ ♪

♪ ♪